網走桂陽高校　図書だより　2023/01/20 発行　　文責：川口修平

ほんよも

No.032

「桂陽図書の１００冊　２０２３」完成！

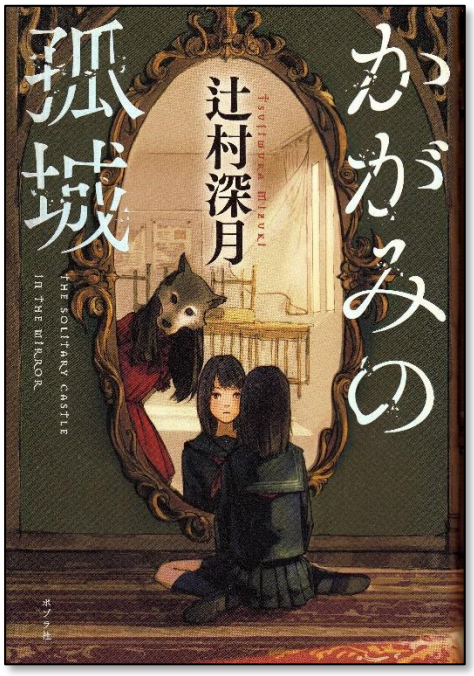
図書室にある本の中から、特に面白いオススメの本を１００冊厳選し、内容を紹介した**「桂陽図書の１００冊」**の２０２３年度版が出来上がりました。昨年のものから１０冊ほど新しい本に入れ替わっています。冊子は図書室に置いてありますので、欲しい人は自由に持って行ってください。読むものに迷ったら、この中から選べば間違いはないと思います。この１００冊に選ばれた本は図書室中央の本棚の中に並んでいます。

全校生徒のみなさん、今年も気軽に図書室に遊びに来てください！

～傷ついている人に勇気と希望を与える物語～

『かがみの孤城』（辻村深月）

内容・あらすじ



学校に行けなくなり、家に閉じこもっていた中学１年生の安西こころ。ある日突然部屋の鏡が光り始め、手を入れてみると鏡の中に引きずり込まれてしまいました。鏡をくぐり抜けた先は、不思議な城の中。そこには、こころの他にも似た境遇の６人が集められていました。城の管理者らしき「オオカミ様」という少女からこの城の「ルール」について説明を受けた７人は、毎日のように城で過ごすようになります。お互いの境遇を打ち明け、励まし合って絆を深めていく７人でしたが、ある一人が「ルール」を破ってしまい――。

川口先生の感想

これは歴史に残る名作です。「現実がつらい」と感じている人を救い、勇気を与える物語だと思います。城に集められた７人はそれぞれの事情で苦しんでいるのですが、読んでいくうちになぜこの７人だったのか、という謎が明かされ、話が大きく動き始めます。そして７人に危機が訪れ、最後は驚きの結末で幕を閉じます。展開・内容・テーマ、どこを取っても完璧。アニメ映画化され、現在公開中です。残念ながらオホーツクではやっていないのですが、チャンスがあればぜひ見てみてください。映画も名作です。歴史に残る名作なので、図書室には２冊入れてあります。

図書購入希望リクエストはこのフォームで受け付けています！→